

令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	長野 丸山
		全体計画						経費区分		-		内線	3254
事務事業名	4136 生活雑排水対策事業												
所 属	121000 市民環境部・生活環境課												
施 策	03011100 環境を守る活動の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	040106 衛生費・保健衛生費・公害対策費											
	事業	020000 生活雑排水対策事業											
事業目的						事業概要・効果							
公共下水道に接続する世帯数の増加と、未接続世帯の排水について河川等の水質維持を図るため、生活排水の適正な処理を行う。						生活排水(し尿を除く)脱水処理、運搬、堆肥化处理業務を業者に委託し適正に処理する。 河川の水質維持のため、個人設置型の浄化槽に対する設置費用の補助を行う。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
浄化槽設置補助件数 0件 生活排水汚泥処理量 (中間処理) 236,860ℓ	浄化槽設置補助件数 1件 生活排水汚泥処理量 (中間処理) 213,850ℓ
平成29年度 実績	平成30年度 実績
浄化槽設置補助件数 1件 生活排水汚泥処理量 (中間処理) 203,070ℓ	浄化槽設置補助件数 2件 生活排水汚泥処理量 (中間処理) 193,530ℓ
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
浄化槽設置補助件数 1件 生活排水汚泥処理量 (中間処理) 177,720ℓ	浄化槽設置補助件数 1件 生活排水汚泥処理量 (中間処理) 190,000ℓ

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		2,729	3,052
特定財源	国庫支出金	138	182
	都道府県支出金	138	182
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,453	2,688
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,453.0	1,453.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,453.0	1,453.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,182.0	4,505.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	2,274	中間処理2,169、運搬27、最終処分78
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	455	県浄化槽推進協議会負担金41、小型合併処理浄化槽設置事業補助金414
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	2,463	中間処理2,341、運搬34、最終処分88
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	589	県浄化槽推進協議会負担金41、小型合併処理浄化槽設置補助金548
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	一般家庭から排出される雑排水が河川の水質汚濁の原因となっていることから、河川等の水質維持を図るため生活排水の適正処理を行う。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	河川の水質汚濁の原因となる、公共下水道等へ未接続の一般家庭から排出される生活雑排水について、処理業務を業者へ委託し、適正な処理を行った。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	河川の水質汚濁の原因となる、公共下水道等へ未接続の一般家庭から排出される生活雑排水について、処理業務を業者へ委託し、適正な処理を行った。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

生活雑排水の汚泥処理（脱水処理、運搬、堆肥化処理）業務を業者に委託し適正に処理した。
 小型合併処理浄化槽設置事業補助金の申請が1件あり交付した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
引き続き、下水道への接続促進及び浄化槽による生活雑排水の浄化に努める必要がある。		河川の水質維持のため、引き続き生活雑排水の適正処理を進めていく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	